

- 1 主題名（内容項目）：郷土を受け継ぎ大切にする（C(17) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度）
- 2 教材名：十勝で働く喜び
- 3 学年：第6学年
- 4 本時のねらい
酪農業に従事する人々が地域に貢献しようとする思いについて考えたり議論したりする活動を通して、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、我が国や郷土を受け継ぎ発展させていこうとする心情を育てる。
- 5 本時の展開

	学習活動（○主発問 △補助的な発問）	・留意点 ◆評価
導入	1 十勝に住んでよかったと感じた経験や地域に貢献したいという思いについて交流する。 ○ あなたは、これからも十勝に住み続けて、地域に貢献したいという思いはありますか。 △ 日常生活の中で、あなたが十勝に住んでよかったと感じたことはありますか。 △ 自分の生まれた地域に貢献することに、よさはあるのでしょうか。	・ 自己の経験について交流したり、酪農業に従事し地域に貢献しようとする人々を紹介したりすることで、価値への方向付けをする。 ・ 十勝で酪農業を営み、地域に貢献しようとする人々を紹介する。
	自分の生まれた地域に貢献することのよさとは何なのか。	
展開	○ なぜ、○○さんや○○さんは、十勝に貢献したいという思いをもつようになったかを考えながら動画を見ましよう。 ※Chapter「歴史ある酪農業を続ける思い」までを視聴	・ 課題に対する児童の一面的な見方を生み出す。
	2 動画を視聴し、○○さんや○○さんが十勝に貢献しようとする「思いのもと」について交流する。 ○ ○○さんや○○さんにとって、十勝に貢献しようとする1番の「思いのもと」とは何なのでしょう。 ※「生産者としてのプライド」、「親から受け継がれてきたもの」など、児童の意見を交流した後、グループで議論する時間を保障し、1番の思いのよさの理由を明確にする。 △ 酪農家の人たちは、十勝のどのようなところに魅力を感じているのでしょうか。 △ 多くの苦労があっても、なぜ、十勝で酪農を続けようと思えたのでしょうか。	・ 自我関与できるよう関わり方を工夫する。 ・ 児童の意見を取り上げながら、十勝の魅力について触れたり交流したりする。
終末	3 自分の生まれた地域に貢献することのよさについて交流する。 ○ 自分が生まれた地域に貢献することのよさとは何なのでしょう。	◆ 「地域に貢献しようとする思い」について、多面的・多角的に考えている。
	4 本時の課題について自分の考えをまとめ、本時の学習を振り返る。 ○ あなたに、十勝に貢献しようとする思いがあったとしたら、それを生み出す「もと」となるものは何ですか。 ※Chapter「地域や地元で貢献できていると実感する場面」を視聴	◆ 「地域に貢献しようとする思い」について、自己との関わりで考えている。

